

報道関係者各位

2019 年 3 月 12 日  
株式会社鈴商

## 平成最後の運試し！『テング ビーフステーキジャーキー』感謝イベント ダーツとくじで豪華プレゼント 1 万個のゲリラサンプリングも 3 月 30・31 日 SHIBUYA109 店頭イベントスペースにて

食料品の輸入販売・卸を行う株式会社鈴商（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木基司）は、自社が製造・販売する『テング ビーフステーキジャーキー』のイベントを 2019 年 3 月 30 日（土）、31 日（日）に SHIBUYA109 店頭イベントスペースにて実施します。

### ● 平成に感謝、平成最後の運試し！

#### ～『テング ビーフステーキジャーキー』感謝イベント概要～



※イメージ図

日時：2019 年 3 月 30 日（土）、31 日（日）

10:00～19:00

場所：SHIBUYA109 店頭イベントスペース

イベント内容：

1.『テング ビーフステーキジャーキー』（10g、サンプル）を 1 日 4 回、ゲリラ的に配布しま

す。2 日間で約 1 万個のサンプル配布を予定しています（なくなり次第終了）。また、ゲリラサンプリングのオープニングアクトとして、日本一のヒューマンビートボックス、Ettoman（エットーマン）がパフォーマンスを披露します。

2. SNS 映えするテングフォトスポットを設置。撮影した写真をその場で SNS に「#テングジャーキー」で投稿したお客様に、「テングボールダーツ」「テングくじ」のどちらかで運試ししていただきます（※ゲームは 1 日 4 回実施予定です）。「テングボールダーツ」では、当たりのマスにボールがくっつくと『テング ビーフステーキジャーキー』（50g、税別 750 円）をプレゼント。「テングくじ」では、壁にはってあるカードを剥がして「大吉」が出たら『テング ビーフステーキジャーキー』（50g、税別 750 円）をプレゼントいたします。はずれても 10g のサンプル品をプレゼント。参加無料ですが、お一人様一回のみのご参加となります（いずれも数量限定、なくなり次第終了）。



### ■ イベントに来られなかった方や、ゲームに参加された全員にも W チャンス

「平成最後のありがとう『39（サンキュー）』キャンペーン」と銘打った W チャンスをご用意。インスタグラムでテングビーフジャーキーのアカウント「tengu\_jerky」をフォローし、指定のテングビーフジャーキー「メモリアル画像」か、あなたが撮影した「感謝」がテーマの写真のどちらかに、ハッシュタグ「#39 テングジャーキー」をつけて投稿すれば、抽選で 10 名に 3.9kg の『テング ビーフステーキジャーキー』豪華詰め合わせセットをプレゼントいたします。

3 月 12 日（火）より応募開始、4 月 30 日（火）応募締切、当選者にはインスタグラムのダイレクトメッセージでご連絡いたします。

#### 【イベント・キャンペーン詳細】

URL：<https://www.suzusho.co.jp/tengu-s/39/>



「メモリアル画像」

今回のイベント・キャンペーンは“ありがとう平成”をキーワードに、出会いと別れがある春に感謝の気持ちを伝えるきっかけとなることを願っております。

### ●豊富なバリエーションで世代を超えて人気商品に

「テングブランド」は、ロングセラーの商品に加えて、食べやすい一口サイズのバイツや激辛タイプ、昨年にはまるでステーキ肉のようなメガサイズのビーフジャーキーや、健康志向の減塩タイプを新発売し、バリエーションを増やしています。

さまざまなニーズに応えることにより、大人世代には懐かしい逸品として、また、若い世代には味わいに加えてロゴの格好よさなどもうけ、6年連続で出荷数を伸ばしています。さらに、最近では良質なタンパク質が簡単に摂取でき、効率よく筋肉の成長をサポートし、よく噛むことで腹持ちもよく満腹中枢に働きかける効果もある“ヘルシー スナッキング”や“健康系おつまみ”として、新たな需要を掘り起こしています。



メガサイズ（左）とレギュラー（右）

### 【販路】

輸入食品取扱店、酒類小売店、量販店、インターネット販売等

### 【商品に関するお問い合わせ先】

株式会社 鈴商 営業部推進課

電話番号：03-3225-1161

### ホームページお問い合わせフォーム

お客様専用 <https://www.suzusho.co.jp/customer/>

法人様専用 <https://www.suzusho.co.jp/company/>

### 【会社概要】

社 名：株式会社 鈴商

代 表：代表取締役社長 鈴木 基司

本社所在地：東京都新宿区荒木町 23

U R L：<https://www.suzusho.co.jp>

資 本 金：84,000,000 円

従 業 員 数：50 人

事 業 内 容：食料品及び酒類の輸入販売及び卸

今後の展開：株式会社鈴商は、1919 年（大正 8 年）にシロップの製造と販売により創業し、今年で 100 周年を迎え、独自の販売とサービスにより、常に優れた品質の食品と食の美味しさと豊かさをお届けしてきました。

これからも世界中の新しい美味しさ、品質の確かな商品、愛される味を追求し、卓越した食品を日本の皆様にお届けして参ります。

本件に関するお問い合わせ先	
株式会社 鈴商 営業部推進課	鈴商 広報事務局
担 当： <sup>ましこ</sup> 益子・井口	担 当： <sup>ふくど</sup> 福土
電 話：03-3225-1165	電 話：03-5411-0066
F A X：03-3225-5520	携 帯：080-6538-6292
E-mail：mashiko@suzusho.co.jp	E-mail：pr@netamoto.co.jp

参考資料

【商品ラインアップ】

品名	スタンダードタイプ			薄切りタイプ	ミディアムチャンク
特長	厳選された牛肉を使用し、醤油をベースとした味付けのビーフジャーキーです。 しっかりとした歯ごたえでビール等のおつまみに最適です。			薄いスライスタイプ 醤油をベースとした味付け	細かいカットタイプ 醤油をベースとした味付け
					
価格	400 円(税別)	750 円(税別)	1,400 円(税別)	1,400 円(税別)	1,800 円(税別)
容量	25g	50g	100g	100g	160g
原産国	日本	日本	日本	日本	日本

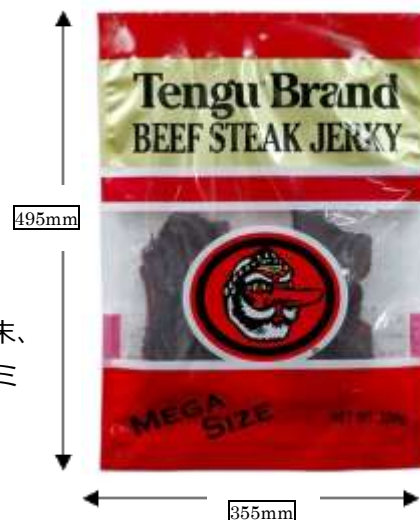
品名	ホット			50%減塩	
特長	醤油をベースに、ピリッと胡椒の効いた辛い味付けの ビーフジャーキーです。		ミディアムチャンク 細かいカットタイプ	激辛	スタンダードの塩分 50%
					
価格	750 円(税別)	1,400 円(税別)	1,800 円(税別)	1,400 円(税別)	1,400 円(税別)
容量	50g	100g	160g	80g	100g
原産国	日本	日本	日本	日本	日本

品名	パイツ		アサヒテングブランドカレー	ミッドリーフ
特長	スタンダード	ホット	ビーフジャーキーカレー	コーンチップス テングビーフジャーキー味
	食べやすいひと口サイズです。			
				
価格	398 円(税別)	398 円(税別)	360 円(税別)	300 円(税別)
容量	35g	35g	200g	170g
原産国	ウルグアイ	ウルグアイ	日本	日本



### 【メガサイズ商品概要】

品名 : テング ビーフステーキジャーキー メガサイズ  
内容量 : 200g  
価格 : オープン価格 (参考価格は 2,800 円 (税別))  
発売開始日 : 2018 年 3 月、2018 年 12 月 (※数量限定発売)  
賞味期間 : 9 カ月  
原産国 : 日本  
原材料 : 牛肉、醤油、砂糖、食塩、胡椒、オニオン末、ガーリック末、しょうが、酸化防止剤 (エリソルビン酸 Na)、調味料 (アミノ酸)、発色剤 (亜硝酸 Na)  
アレルギー情報 : 小麦、大豆を含む商品です。



### ●テングブランドの歴史

#### <「テングブランド」こだわりの醤油味を生み出したのは、日系 2 世>

テングブランドの創業者であるケン大崎氏は、1921 年日系移民 2 世としてアメリカ・ロサンゼルス郊外に生まれました。23 歳の時、アメリカへの忠誠を証する為、日系人米国陸軍部隊“442 部隊”に志願し、戦地に赴きます。日本人特有の忠誠心とプライドは、送られた欧州戦線でしっかりと証明され、442 部隊は米国陸軍史上最も勇敢な部隊のひとつとして今なお語り継がれています。戦地で負傷しながらも帰国したケン大崎氏は、戦後、父の豆腐屋を継ぎながらテング社を創設しました。漬物販売、冷凍食品加工などの事業を展開する傍ら、独自開発を行い、1970 年代半ば、遂に日本人が美味しく食べられる醤油味によるビーフジャーキーを創り出します。それが『テング ビーフステーキジャーキー』です。アメリカ先住民の保存の知恵と日本の伝統的な発酵食品の知恵である「醤油」の組合せが人気の味覚を生み出したのです。

彼のビーフステーキジャーキーへのこだわりは、醤油味と良質のステーキ用肉を使う事でした。日本人の繊細な味覚と材料への徹底したこだわりが功を奏して、『テング ビーフステーキジャーキー』はリトル東京を始めとする日系人社会でたちまち評判となります。すぐに日本人旅行者の間で人気のお土産品として有名になりました。



#### <先代社長が熱い思いで直接交渉し、独占契約が実現>

鈴商の先代社長が『テング ビーフステーキジャーキー』を初めて口にしたのは、アメリカに留学していた友人からのお土産でした。そのあまりの美味しさに何としても輸入販売したいという熱い想いでケン大崎氏に直接交渉しました。その熱意と当時保有する輸入権から独占契約が実現し、1983 年から販売を開始することになりました。当時、米国土産で既に評判で、その美味しさは本物の味として世に知れ渡り、日本でもピーク時は 22 億円の売上がありました。

#### <ビーフステーキジャーキーの転機・狂牛病問題からの復活は、国産へのシフト>

転機は 2003 年に発生した狂牛病 (BSE) 問題です。牛肉の加工食品も輸入が禁止され、大量の商品が自主回収処分や販売中止となりました。その損害金額は 1 億 5 千万円～2 億円にも上り、当社にとって膨大な損失でした。そればかりか、海外の工場が廃止となり輸入販売が不能となります。その後も新しい製造工場を求め転々とするものの、こだわりの味の再現が上手くいかず、約 10 年間、低迷期が続くことになりました。

2013 年アメリカ産牛肉の輸入規制の緩和や、2015 年オーストラリア産牛肉の輸入関税引き下げなどの影響もあり、現在は、原材料は海外の牛肉で、製造は日本工場と一部をウルグアイ工場で行い、安定した製造と流通が確保されています。輸入品とされている『テング ビーフステーキジャーキー』は実は現在国産で製造し、プレミアムな味を今も変わらず受け継いでいます。2019 年現在は、タンパク質が豊富な“健康系おつまみ”や“ヘルシー スナッキング”として人気で、6 年連続出荷数を伸ばしています。